

防災意識を家庭へ

新冠町防災士の会がバッグを配布

昨年10月に町内の防災士らで設立された「新冠町防災士の会」が、9月30日より乳幼児のいる世帯への防災バッグ配布を始めました。防災バッグには、乳幼児のいる家庭に必要と考えられる約20点の防災用品が入っています。

最初の贈呈となった秋田英敏さん一家には、高橋歩夢会長から直接手渡されました。今後は保健師を通じて対象世帯に贈呈する予定です。



新冠小学校が

日高自動車道を見学

新冠小学校は10月3日と28日、北海道開発局の協力を得て、開通前の日高自動車道を見学しました。

これは、9月28日の開通前イベント打ち合わせ時に、同校が「全児童に開通前の高速道路を見せたい」と要望したことから実現したものです。児童たちは現場見学のほか、路面にチョークで絵を描くなど、開通前ならではの体験を楽しみました。



消火・給水の両面で活躍

新冠支署に新しい大型水槽車

10月16日、日高中部消防組合新冠支署は、小型動力付きの大型水槽車を更新しました。

新しい水槽車は9トンの水を積載でき、消火活動の給水車として活躍します。

また、災害時には飲料水の給水車として使用できるほか、LED型の大型照明装置も備えており、さまざまな現場での活動が期待されています。



新冠小学校で

学習発表会

10月24日、新冠小学校で学習発表会が行われました。発表会は1年生の「はなまる おんがくかい」で幕を開け、児童たちは初めての学習発表会で元氣よく発表しました。

その後も各学年が劇や音楽、総合発表を披露したほか、全校児童による合唱も行われ、日頃の学習や練習の成果を発揮した児童たちに、温かい拍手が送られていました。



スウィヴァアラミス号と

細川さんが全国大会へ

9月28日、苫小牧市で開催された第47回北海道地区乗馬大会で、にかつぷホロシリ乗馬クラブ職員の細川由妃さんが、引退馬の馬場馬術競技で優勝し、12月7日に行われる全国大会への出場を決めました。

この競技は、引退3年以内の元競走馬が出場可能で、細川さんは昨年11月に同クラブにきた重賞3勝馬スワヴアラミス号と出場しました。

細川さんは「五輪メダリストも出場するが、同馬のファンのためにも入賞できるよう頑張りたい」と全国大会への意気込みを語りました。



まちの話 題 あれこれ

ビッグレッドファームを

新冠小3年生が見学

10月7日、新冠小学校の3年生が、ビッグレッドファームを訪れ、競走馬に関わる仕事を見学しました。

牧場では、はじめに1歳馬や放牧休養馬が坂道で調教の様子を見学し、その後、親子馬を見ながら馬の体重や親離れについて説明を受け、成長の過程を学びました。

最後の種牡馬との記念撮影では、GIを6勝したゴールドシップ号が登場しました。撮影中に同馬が変顔したことに児童が気付くと、撮影そっこのけで見入る姿も見られました。



庁内DX推進の一環として

職員向け生成AI活用研修を開催

10月8日、町は役場職員を対象に生成AI活用研修を開催しました。

町では、DX推進の一環として生成AIを庁内業務に導入し、業務の効率化や住民サービスの向上を目指しています。

研修では、生成AIの仕組みや正しい活用方法を学び、実際に生成AIシステムを操作し、知識を深めました。



「地域の木を地域の建物に」

関係団体が町へ要望

10月14日、北海道木材産業協同組合連合会と北海道森林組合連合会の関係者が役場を訪れ、木材の利用促進について要望しました。

内容は、公共施設の新築時には地元工場で加工した木材を活用してほしいことや、道産木材の利用を一層推進してほしいというものでした。



日高信用金庫が

環境整備事業として桜を寄贈

10月27日、日高信用金庫（新保雄司理事長）から、にかつぷホロシリ乗馬クラブの敷地に、エゾヤマザクラの若木1本が寄贈されました。

扇谷芳憲静内支店長は、「今年で5年目となる桜の木の寄贈です。乗馬クラブの周りが桜で華やかになり、地域の皆さんの目に留まればうれしいです」と話されました。



新冠中学校2年生が職場体験

町内外の15事業所が受け入れ

10月28日、新冠中学校の2年生が職場訪問の体験学習を行いました。

この学習は毎年実施されており、今年は町内外の15事業所が生徒を受け入れました。

日高中部消防組合新冠支署では、要望があったロイプ渡り訓練も体験しました。生徒は想像以上の体力を要すことに驚きながらも、しっかりと渡り切っていました。

